

調布市
消防団

60周年記念広報誌

CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE CVFEB

平成28年(2016年)1月10日 通刊第7号 発行/調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL 042-481-7348



60周年
記念号



調布市長 長友貴樹

あけましておめでとうございます。昨年4月、調布市制施行60周年と時を同じくして、調布市消防団も創立60周年を迎えられました。皆様のたゆまぬ努力のもと歴史を積み重ね、大きな節目を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

消防団の皆様におかれましては、日々それぞれの仕事に従事しながら昼夜を問わず、消防防災活動に従事いただき、市民の生命、身体、財産を守るために60年の長きに亘り奮闘してこられました。

また、日頃から地域に密着したきめ細かい予防活動で防災意識の醸成に寄与いただくなど、市民の安全安心な生活のために欠くことのできない存在となっております。皆様の「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の尊い志に対し、深甚なる敬意を表すとともに、これまでの御活躍に深く感謝申し上げます。

市としても、基本計画の重点プロジェクトに「強いまち」を掲げ、その中で「消防団の対応能力の向上」と「常備消防力の維持・向上」を挙げて災害に強いまちづくりを推進しております。今後も消防団の皆様と二層の連携の強化を図り、全力で取り組んでまいりますので、全市民の安全安心の維持にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結び、日頃から消防団活動を支えていただいております御家族の皆様並びに地域の皆様の深い御理解・御協力に厚く御礼申し上げます。調布市消防団の皆様が今後更なる研鑽を重ねられ、304名の団結力が益々高まりますよう御祈念申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。



調布市消防団長 永易正敏

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。また、平素より調布市消防団の活動に御理解と御協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年4月1日に調布市消防団第十五代団長を拝命いたしました。消防団の任務がますます重要になりつつある今日、調布市の消防・防災の一翼を担う組織の長に就任し、大変身の引き締まる思いと重責を感じております。

昭和30年4月1日の調布市の誕生と同時に、調布市消防団が創設されました。調布市消防団創立60周年の節目の年にあたり、これまでの消防団の歩みや、活動内容をお伝えするため、記念号を発行することといたしました。

昨年は、9月12日に調布市消防団ポンプ操法審査会を開催しました。各分団とも、日頃の訓練の成果をいかに発揮し、規律・技術ともに大変すばらしい内容の審査会でありました。また7月26日、調布市富士見町の住宅街に、小型航空機が墜落するという大変痛ましい事故が起こり、尊い命が失われ、多くの方々が被害に遭われました。心より御冥福をお祈りいたすとともに、被害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。また、9月12日は、調布市で震度5弱の地震が発生しました。いつどのような形で起こるか分からない災害に、対峙していく重要性を再確認いたしました。

我々消防団は、消防防災に関する知識や技術を高め、調布市民の安全安心を念頭におき、いつ発生するのかわからない災害に対応できるよう、団員一同、誠心誠意これまで以上の努力と研鑽を重ねていく所存でございます。そして、「郷土愛護」の精神のもと、より地域に根差した消防団を目指してまいります。

結び、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層の御理解と御協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。皆様の今年一年の益々の御健勝、御多幸を心より御祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

装備品



消防団は「さしこ」と呼ばれる火災用の防火衣を着用して、災害対応にあたります。結成当時は「火消しばんてん」を着用していました。その後、黒色の「さしこ」、銀色の「さしこ」を着用し、消火活動を行っていました。現在では金色の「さしこ」を着用し、消火活動等を行っています。

金色の「さしこ」



銀色の「さしこ」



黒色の「さしこ」



火消しばんてん(市内の布田で新調されたもので、背中の部分には「布多」とかかれ、その下には五宿(旧調布町地区)を示す太い五本の横線が入っています。

ポンプ車

昭和30年当時は手引きガソリンポンプが主流でしたが、昭和30年後半には、三輪ポンプ車が主流となりました。昭和50年代まではドア無しのポンプ車でしたが、昭和50年以降ドア付きのポンプ車が整備され、現在のポンプ車となりました。



平成25年に第9分団のポンプ車の更新を図りました。最新の資機材を搭載し、災害対応にあたります。



手押ポンプ



三輪ポンプ車



ドア無しのポンプ車は昭和30年後半から主流となりました



昭和50年以降ドア付きのポンプ車が主流となりました

消防団活動

消防団では、さまざまな災害に対応するため、訓練を実施してきました。水害に備える水防訓練、災害に備えるための総合防災訓練、震災消防訓練など多岐に渡る訓練を経験し、災害に備えています。近年では、調布駅や飛田給駅での消防演習にも参加しています。また、救助活動にも対応するため、救命講習を積極的に受講しています。講習では成人の心肺蘇生法、幼児の心肺蘇生法、AEDの使用法や三角巾を使用した傷の手当方法等を学んでいます。さらに、春の火災予防運動、秋の火災予防運動、歳末警戒など、火災の予防のため、警戒活動を行っています。地域の防災訓練にも参加し、火災予防の啓発に努めています。



平成21年東京都・世田谷区・調布市合同防災訓練



昭和58年出初式



過去の水防訓練の様子



平成21年水防訓練



歳末警戒の様子



昭和45年出初式



深大寺文化財防火デー



「防災教育の日」市内の小学校にて



機関員訓練の様子



上級救命講習受講の様子



昭和55年水防訓練

消防団とは？



- ①消防団員は、生業を営みながら活動しています。
消防団員は、普段自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。
- ②消防団は、災害に備え、訓練・研修・警戒活動を行っています。
消防団員は、基本操法訓練、総合防災訓練、震災消防訓練、水防訓練、文化財防火演習など、災害に備え様々な訓練を行っています。また、災害の防止に向け、警戒活動もを行っています。
- ③消防団は、地域に密着した活動をしています。
消防団は、自分の地域は自分で守るという「郷土愛護」の精神のもと活動しています。自分達の地域の特性や情報に詳しく、逸早く災害現場に駆け付けられることができ、災害対応にあたることができます。また、地域防災訓練への協力や、祭礼の警戒もを行っています。

CONTENTS

調布市消防団とは	P2
調布市消防団の歴史・沿革	P2~P3
暦年表彰	P3
平成28年行事予定	P4
東京消防庁消防総監賞受賞を受賞しました	P4
調布市消防団分団紹介	P4



暦年表彰

60年間という歴史の中で、活動功績が認められ、さまざまな表彰を受賞しています。 ※主な受賞を抜粋

- 昭和30年 日本消防協会会長より竿頭綬を授与
- 昭和38年 日本消防協会会長より全国優良消防団として表彰状並びに表彰旗を授与
- 昭和39年 東京消防庁消防総監より優良消防団として表彰状を授与
- 昭和49年 東京消防庁消防総監より染地2丁目の火災に対して表彰状を授与
- 昭和50年 消防庁長官より優良消防団として表彰状並びに竿頭綬を授与
- 昭和59年 消防庁長官より優良消防団として表彰旗を授与
- 平成元年 東京消防庁消防総監より東京消防庁水防演習の表彰状を授与
- 平成2年 東京都知事より優良消防団(功労者)として表彰状並びに表彰旗を授与
- 平成8年 東京消防庁消防総監より優良消防団として竿頭綬を授与(特別賞)
- 平成13年 北多摩地区消防団連絡協議会親善ソフトボール大会優勝
- 平成13年 東京消防庁第八方面本部長より調布ヶ丘3丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成13年 東京消防庁第八方面本部長より柴崎2丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成13年 東京都知事より消防褒賞(竿頭綬)を授与
- 平成15年 東京消防庁第八方面本部長より下石原1丁目の連続放火火災に対して表彰状を授与
- 平成16年 東京消防庁第八方面本部長より野水1丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成16年 東京消防庁第八方面本部長より上石原1丁目の火災に対して表彰状を授与

- 平成17年 東京消防庁第八方面本部長より深大寺北町1丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成17年 東京消防庁第八方面本部長より八雲台2丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成24年 東京消防庁第八方面本部長より深大寺東町8丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成24年 東京消防庁第八方面本部長より東つつじヶ丘3丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成25年 東京消防庁防災部長より世田谷区給田3丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成25年 東京消防庁消防総監より特別優良消防団として表彰旗を授与
- 平成26年 東京消防庁第八方面本部長より多摩川3丁目の火災に対して表彰状を授与
- 平成27年 東京消防庁消防総監より富士見町小型飛行機墜落事故の火災に対して表彰状を授与



昭和59年消防庁長官表彰授賞記念式典



平成25年第13分団東京消防庁防災部長賞受賞

操法大会

操法とは、消防活動の基本となるポンプ車の操作や、放水等の器具操作の一連の動作を言い、消火活動には欠かせない訓練です。調布市消防団では昭和43に第1回の操法大会が実施され、平成27年には操法審査会を行いました。市内各15個分団が、規律を競い合う伝統的な大会です。



過去の操法大会の様子



市内での操法大会の様子



昭和45年第3回消防操法大会



平成27年操法審査会



多摩川河川敷での操法大会の様子



平成25年第43回東京都操法大会出場(第6分団)

平成24年旧富士見町住宅での消防演習



平成26年飛田給駅での消防演習



平成24年調布駅地下化に伴う消防演習



平成27年神代中学校での総合防災訓練

平成27年操法審査会



平成25年味の素スタジアムでの第八方面本部救助救急訓練



平成27年度本部役員及び第1~15分団長(調布消防署長、調布市長らとともに)

調布市消防団の沿革

調布市では、古くから地域ごとに自主消防組が組織されており、昭和14年の警防団令時では、旧調布町に8個警防団、旧神代村に11個警防団が編成されていました。それが、昭和23年の消防組織法の施行により、市町村の消防責任が明記され、市町村は消防を十分に果たす責任を有し、消防団を設けなければならないことが定められ、その時に、調布市でも警防団から消防団となりました。その後昭和30年の市制施行により、調布町の8個分団・神代町の7個分団が統合して、現在の調布市消防団が創設されました。当時の消防団装備は、現在のものとはだいぶ異なり、消防ポンプ車4台、三輪ポンプ車2台、手引ガソリンポンプ14台でしたが、その後、昭和41年には手引きガソリンポンプから消防ポンプ自動車への更新が完了し、現在の消防ポンプ自動車15台体制となりました。昭和42年には消防団の定数を479名から本部役員4人、15個分団各20人による304名体制となり、現在では永易団長のもと、304人体制、消防ポンプ自動車15台で、地域の安全を守るため、365日昼夜を問わず災害対応にあたっています。

東京消防庁消防総監賞受賞



平成27年9月24日に、調布市消防団は、東京消防庁本庁舎にて東京消防庁消防総監賞を受賞しました。平成27年7月26日に発生した小型飛行機の墜落事故において、建物が延焼拡大する火勢熾烈な状況の中、積極果敢な消火活動により、隣棟への延焼拡大阻止を図り、被害を最小限に止めた功績が認められ、受賞にいたしました。

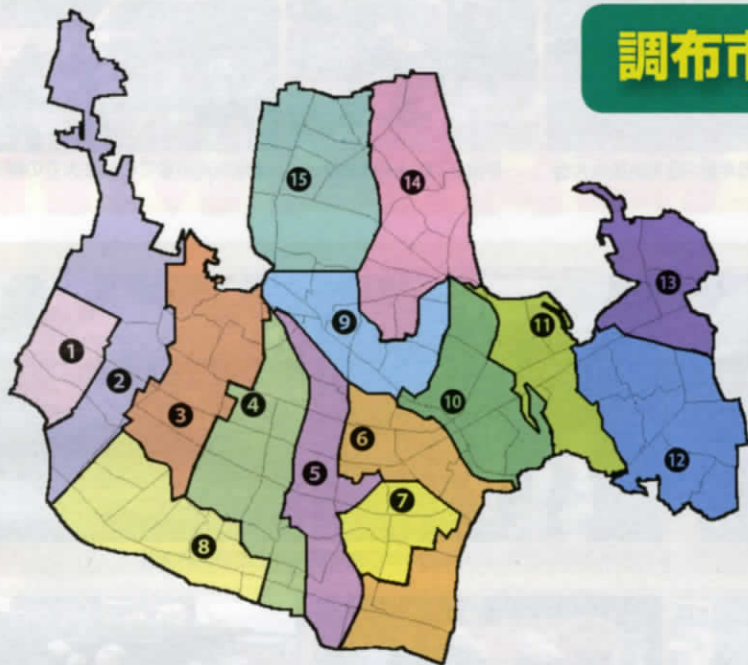
表彰状を持つ調布市消防団永易団長と東京消防庁の方々。(向かって前列左から東京消防庁村上次長、調布市消防団永易団長、東京消防庁高橋消防総監、東京消防庁関防災部長)

平成28年の主な予定

- 1月10日 出初式
 - 1月下旬 文化財防火演習
 - 2月中旬 消防ポンプ車技能講習会
 - 3月上旬 機械器具特別点検
 - 3月11~7日 春の火災予防運動・警戒
 - 4月1日 新入団員等任命式
 - 4月下旬 機関員訓練・規律訓練
 - 5月上旬 基本操法訓練
 - 9月下旬 調布市総合水防訓練
 - 10月中旬 北多摩地区消防大会
 - 11月9~15日 調布市総合防災訓練
 - 11月中旬 秋の火災予防運動・警戒
 - 12月下旬 震災消防訓練
 - 年末特別警戒
- ほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。
(予定は変更される場合があります。)
各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。

調布市消防団分団紹介

調布市消防団は本部役員及び15個の分団で構成されています。15個分団それぞれに担当地区を持ち、災害が発生した場合は、地域の安全を守るため、主に消防ポンプ車にて災害現場へ出場します。



<p>第1分団 飛田給、西町、野水地域</p>	<p>第2分団 上石原、西町、野水地域</p>	<p>第3分団 下石原、富士見町、西町地域</p>
<p>第4分団 小島町全域、布田・調布ヶ丘・染地・多摩川地域の一部</p>	<p>第5分団 布田、国領、染地、調布ヶ丘、多摩川地域</p>	<p>第6分団 国領町、染地、八雲台、多摩川河川敷</p>
<p>第7分団 国領町・染地の一部、布田、八雲台、多摩川河川敷</p>	<p>第8分団 多摩川地域、小島町地域の一部</p>	<p>第9分団 佐須町、深大寺、調布ヶ丘、八雲台地域</p>
<p>第10分団 柴崎地域の一部、菊野台地域の一部</p>	<p>第11分団 西つつじヶ丘全域、菊野台地域</p>	
<p>第12分団 東つつじヶ丘、入間町、若葉町地域</p>	<p>第13分団 仙川町、緑ヶ丘、若葉町地域の一部</p>	<p>第14分団 深大寺東町、南町地域</p>
<p>第15分団 深大寺元町、北町地域</p>		

防災・安全情報メールに登録を!

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。

- 市からのお知らせ ●気象情報
- 地震情報 ●災害情報 ●防犯情報

◇登録方法

下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。

c-bousai@sg-m.jp



問い合わせ：調布市総合防災安全課 042-481-7346

地震だ! してますか? 家具類の転倒・落下・移動防止対策

近年発生した大きな地震で怪我をした原因を調べると、約3割から5割が、家具類の転倒・転落・移動によるものでした。家具類の転倒・転落・移動は、避難通路を塞ぎ、火災を引き起こす原因にもなります。大切な家族を守るため、対策を行いましょう。詳しくは、東京消防庁のホームページをご覧ください。お問い合わせ：調布消防署 ☎042-486-0119



東京消防 検索

東京消防庁

消防団員募集!

調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます!



お問い合わせ

調布市消防団事務局 (調布市役所総合防災安全課内)

☎042-481-7348

入団資格

調布市に居住しており、年齢18歳以上の健康な方